

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」マルシェ in 与島 PAを開催しました（令和4年7月2日）

中国四国農政局は、本州四国連絡高速道路(株)主催のせとうち麺フェスタ 2022 オープニングイベントに参加し、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」のPRを行うとともに、第8回（令和3年度）に選定された岡山県、香川県の4団体（個人）による農林水産物や加工品の販売を行うマルシェを瀬戸中央自動車道与島PAで開催しました。

当日は高温にもかかわらず、約200名余りの来場者が立ち寄り、出店した方々も「お客様の反応が伝わり、今後の商品の参考にもなった」「横のつながりができたし、情報共有もできた」などマルシェに参加してよかったと好評でした。

1. 日時及び場所

開催日：令和4年7月2日（土）

開催時間：10:00～15:00

開催場所：瀬戸中央自動車道 与島 PA

2. 出店内容

- ①中国四国農政局によるディスカバー農山漁村の宝、6次産業・地産地消のPRパンフレット配布、ポスター展示等
- ②第8回ディスカバー農山漁村の宝（中国四国農政局ディスカバー農山漁村の宝）に選定された岡山県、香川県の4団体（個人）によるディスカバー農山漁村の宝マルシェ
 - ・植田輝義氏（(株)アーチファーム）岡山県岡山市
 - ・草間台エコミュージアム 岡山県新見市
 - ・大野豆プロジェクト 香川県高松市
 - ・みとよのみプロジェクト（風の谷ファーム）香川県三豊市

3. 来場者数

261人（ブースに立ち寄った人、延べ人数）

【写真】



（会場の様子）



（農政局ブースの展示状況）

4. 今後の予定

引き続き、与島PA等のSA・PAでの本四高速イベントに合わせた出店を計画。

「ディスカバー農山漁村の宝マルシェ」来場者アンケート調査の概要

1. アンケート実施日 令和4年7月2日（土）
2. アンケート回答者数 36名（男性 19名 女性 17名）
3. アンケート調査結果 概要は以下のとおり。

（概要）

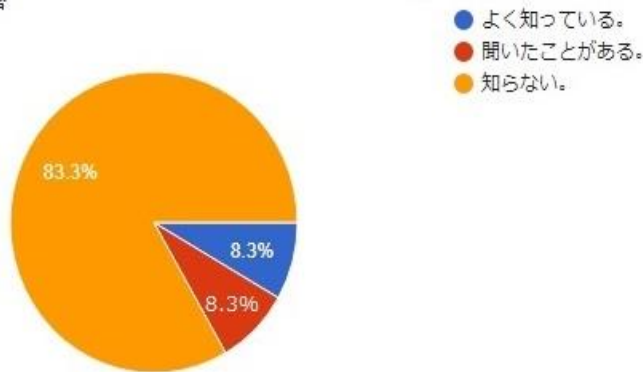
回答者の構成は、40代が3割であり、40代及び50代で過半を占めた。

ディスカバー農山漁村の宝について、「よく知っている」「聞いたことがある」と回答した方の合計が16.6%、6次産業化について、「よく知っている」「聞いたことがある」と回答した方の合計が36.1%であり、一般の方にもっと認知度を高める必要がある結果となった。

一方、地産地消に関する質問では、「なるべく県内農産物を購入するように意識している」「ときどき県内農産物を購入するように意識している」の合計が97.2%であり、地産地消に対する意識はたいへん高いものであった。また、農山漁村について「もっと農山漁村の美味しいものの情報をしりたい」、「農山漁村の風景を見にいってみたい」の回答が7割弱と、農山漁村の食や景観に関心が高いが、農山漁村に住んだり、農林漁業の体験に対する関心は高くない結果となった。

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」についての質問です。
「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」をご存じでしたか。

36件の回答

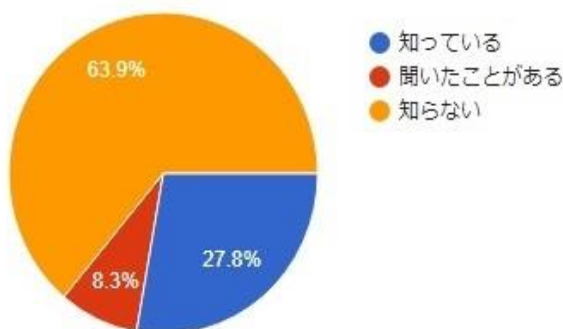


〈ディスカバー農山漁村の宝の認知度〉

「よく知っている」が8.3%「聞いたことがある」が8.3%、合わせると16.6%であった。

6次産業化について質問です。「6次産業化」が
どういうものかご存じですか？

36件の回答

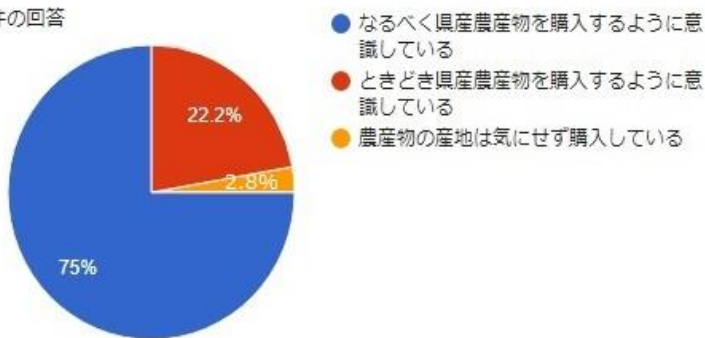


〈6次産業化の認知度〉

「知っている」が27.8%、「聞いたことがある」が8.3%、合わせると36.1%であった。

地産地消について質問です。普段買い物をしている時、
県産農産物を購入するよう意識 していますか？

36 件の回答

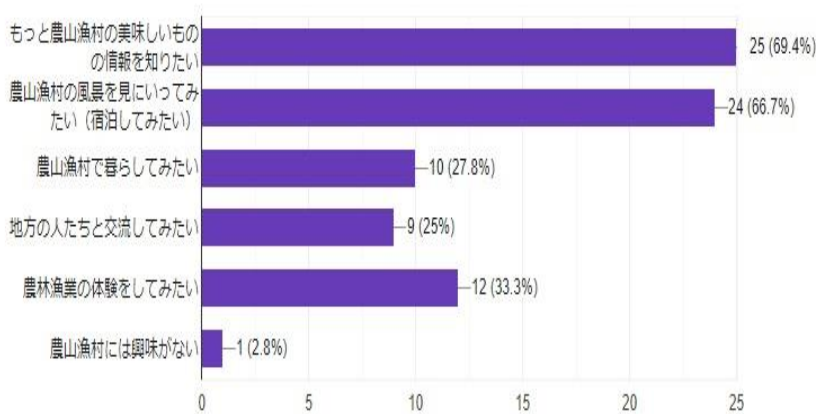


〈地産地消に対する意識〉

「なるべく県内農産物を購入するよう意識している」が 75%、「ときどき県内農産物を購入するよう意識している」が 22.2%であり、県産農産物を購入するよう意識している人は 97.2%であった。

農山漁村について（複数回答可）

36 件の回答



〈農山漁村に対する意識〉

「もっと農山漁村の美味しいものの情報をしりたい」(69.4%)、「農山漁村の風景を見にいったみたい」(66.7%) の回答が 7 割弱である一方で、「農山漁村で暮らしてみたい」(27.8%)、「地方の人たちと交流してみたい」(25%)、「農林漁業の体験してみたい」(33.3%) は 3 割前後であった。